

9月22日 東町（東町福祉館にて）

<主なやりとりと対応状況>

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 先日の朝日新聞の記事で、完成時期の遅れや事業費・整備面積の増加についての記事が出ていたが、その内容は本日の説明会と同じ内容か。
⇒ 同じ内容です。
- 新庁舎は、断熱や省エネルギーに配慮した建物になるのか。
⇒ 「ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）」という温室効果ガスの排出削減や省エネルギーにつながる建物を目指しています。
- 展望デッキにドクターヘリのヘリポートを設置することはできないか。
⇒ 確保できる面積や構造上の問題で設置は不可能だと思われます。
- 葉山町の庁舎は、1階のフロアだけで手続きが済むような配置になっているが、大磯町の新庁舎も同一フロアで手続きが完結できるようになるのか。
⇒ 町民の方のご用件にもよりますが、利便性に配慮した動線・レイアウトになるよう設計していきます。
- 藤沢市では、「おくやみ」の手続きが1か所で完結できるよう導入を進めている。
⇒ 各種窓口を1つに集約し、ワンストップで手続きが完結できることは利便性向上につながるので検討していきます。
- 新庁舎建設が長引いた原因は。長引いたことでの地方交付税への影響は。
⇒ 4月から建設業に適用されることになった法改正に伴う、休日確保によって工期の延伸が生じる見込みです。地方交付税への影響は、令和7年度中に完成していれば、返済財源の70%が交付税で交付される予定でしたが、工期の延伸により返済財源の50%が交付税で交付されることとなりました。
ただし、地方交付税70%交付の仕組みは延長される可能性もあります。
- 駐車場が使えなくなる期間に運航するシャトルバスの費用は、総工費に含まれているのか。
⇒ 含まれていません。

【町内の課題など】

- 台風10号の際、家の前の道路が冠水し、トイレが使用できなくなってしまった。大磯高校のグラウンド（バックネット側）の水が溢れ、水かさが増してしまう。
- 雨が降るとトイレから「ドボドボ」という音が鳴る。
- スーパーたまや方面（池田排水路）からの流入が多く、三沢川付近の方からも同様の音がすると相談を受けたことがある。
 - ⇒ 道路冠水は、雨水を流す下水管（雨水管）が足りないことが原因と思われます。雨水管は約3割しか整備できていないので、整備促進に努めます。また、大磯高校の件は、学校側に相談します。
- 大磯地区、国府地区の人口増減について、衣食住が整っている地域は人口減少が緩やかではないか。論理的に分析して対策を検討してみてもどうか。
 - ⇒ 小学校の入学者数でみると、大磯地区は減少、国府地区は増加しています。国府地区は比較的に土地が多く宅地分譲されていますが、大磯地区は家を建てる土地が少ないので、空き家対策を進めていくことが必要だと考えています。
- インターネットのニュースで、60歳以上の方が神奈川県内で住みたい地域のランキングを見た。1位藤沢市、2位海老名市、3位茅ヶ崎市、大磯町は13位であり、移動の利便性や衣食住の充実度が順位の要因と分析されていた。
 - ⇒ 移動の利便性の観点では、町内を走るタクシーの増車を依頼しています。将来的には、タクシー券の発行や乗合タクシーについても検討していきます。
- コミュニティバスの活用は。
 - ⇒ コミュニティバスは、二宮町で導入されていますが、経路と時間が決まっていますので利便性が悪いと聞いています。
- 高来神社では、危険な樹木の伐採を行っているが、資金不足等で対応に苦慮している。町から支援していただくことはできないか。
 - ⇒ 町全体で同様の問題があることは認識しています。町がすべて対応することはできませんが、財源の確保や支援対象とする基準等を研究していきます。
- 東町では、津波発生時の避難に課題があり、高齢者が津波到達までに避難ができないとあきらめている方がいる。町からも避難を呼びかけるアプローチができないか。
- 台風10号の際、役場まで土のうを取りに行こうとしたが、道路の冠水・渋滞により断念せざるを得なかった。土のうの分散管理を検討していただきたい。
- 吸水ポリマー土のうの導入を検討していただきたい。
 - ⇒ 津波避難については、町からも様々なツールで町民に呼びかけます。土のうについては、普段から持ち去る方が多く管理の在り方を検討中です。

以上